平成20年度（3）

県政モニター
アンケート報告書

テーマ「環境と安全に配慮した
農業に関する意向調査」

平成21年 2 月

愛知県

も　　く　　じ

Ⅰ　調査の概要 …… 1

Ⅱ　調査結果

1　愛知の農業 …… 3

2　農産物の購入 …… 4

3　環境にやさしい農業推進の取組 …… 6

4　ＧＡＰ（ギャップ）手法 …… 10

5　有機農業 …… 13

6　今後の愛知県農業の方向 …… 21

7　自由意見 …… 22

Ⅲ　質問と回答 …… 27

Ⅰ　調査の概要

1　調査のテーマ

環境と安全に配慮した農業に関する意向調査

2　調査の趣旨

農業の大きな役割は、私たちが生きていく上で、なくてはならない食料の生産です。食の安全を確保することは、私たちが健康に生きていく上で、とりわけ重要です。

また、農業は、県土の保全、水源のかん養、自然環境や生物多様性の保全など様々な多面的役割を果たしていますが、これらの役割は、農業が環境と調和する形で適切に営まれてこそ発揮されます。

愛知県では、市町村や関係団体と一体となって環境と安全に配慮した農業を推進していますが、こうした農業を推進するためには、農業者だけでなく、多くの県民の理解と協力が必要です。

そこで今回のアンケートは、環境と安全に配慮した農業の取組やその取組によって生産された農産物に対する県民の皆様の意向などを把握し、今後の施策の参考とするため、県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

3　調査対象

県政モニター　498人　(平成20年10月２日現在)

内訳

区　分		計		名古屋地域	尾張地域	三河地域
		人　員	構成比			
総　数		498人	100.0%	153人	189人	156人
性別	男性	243	48.8	75	91	77
	女性	255	51.2	78	98	79
年代別	20代	74	14.9	21	27	26
	30代	110	22.1	32	44	34
	40代	83	16.7	28	30	25
	50代	79	15.9	24	29	26
	60代以上	152	30.4	48	59	45

4　調査期間

平成20年10月３日から平成20年10月22日まで

5　調査方法

郵送・インターネット

6　回答者数

477人（回収率　95.8%）

記号・符号・用語の説明

⑴　N（Number of Cases の略）は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

⑵　M.T.(Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)

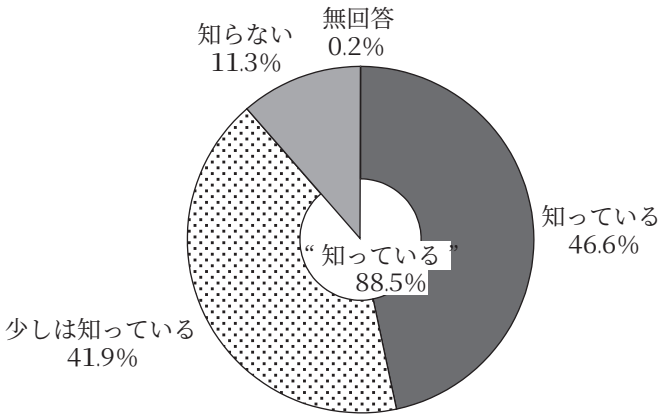
⑶　(－) は該当数値のないことを示す。

Ⅱ　調査結果

1　愛知の農業

問１　愛知県では、キャベツ、ブロッコリー、いちじくなど生産量全国１位の品目が多く生産されています。このように愛知県の農業はたいへん盛んですが、あなたは、このことを知っていますか。(回答は１つ)

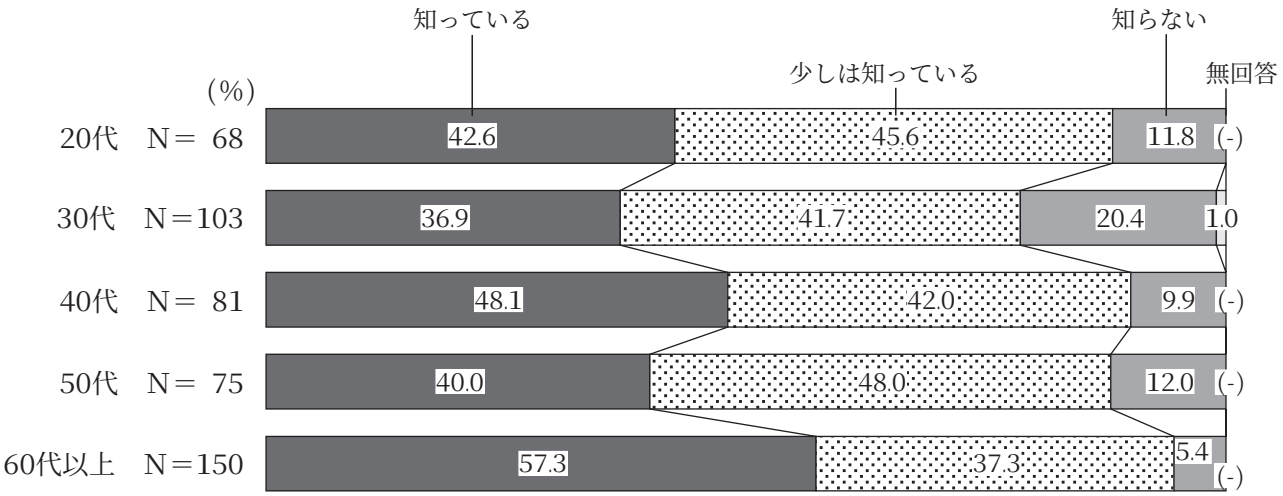
N＝477



愛知県の農業がたいへん盛んであることを知っているかを尋ねたところ、「知っている」46.6%、「少しは知っている」41.9%で、合わせた“知っている”が88.5%となっている。また、「知らない」が11.3%となっている。

年代別にみると、“知っている”と答えた人の割合は、60代以上で高くなっている。

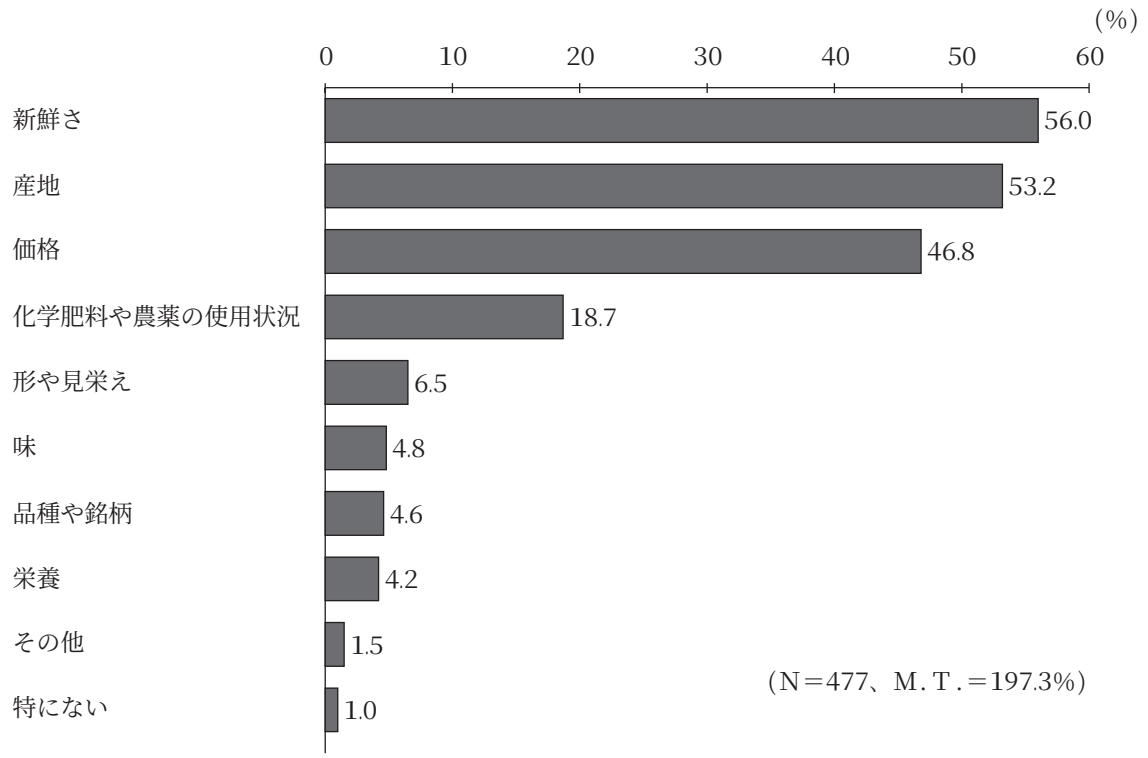
(年代別)



2　農産物の購入

問２　あなたは、今まで、主にどのような点に気をつけて農産物を購入していましたか。

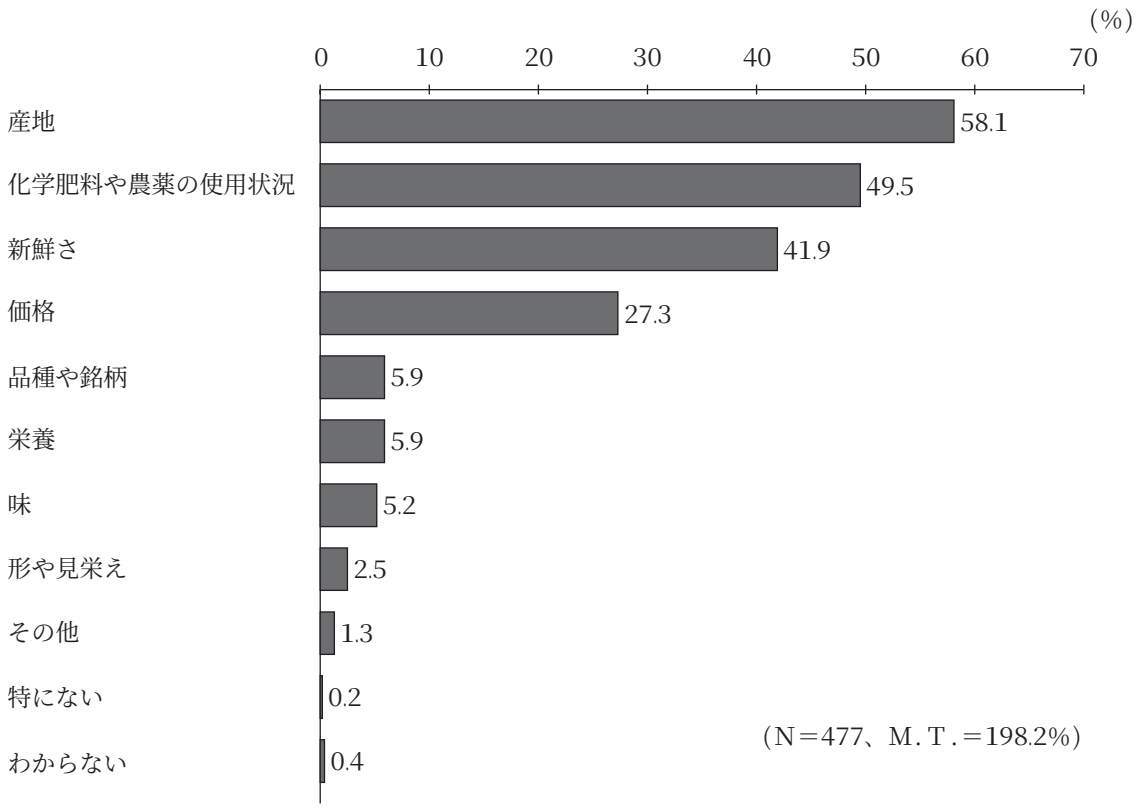
(回答は２つ以内)



主にどのような点に気をつけて農産物を購入していたかを尋ねたところ、「新鮮さ」が56.0%、「産地」が53.2%、「価格」が46.8%などとなっている。

問３　あなたは、今後、どのような点に気をつけて農産物を購入したいと思いますか。

（回答は２つ以内）

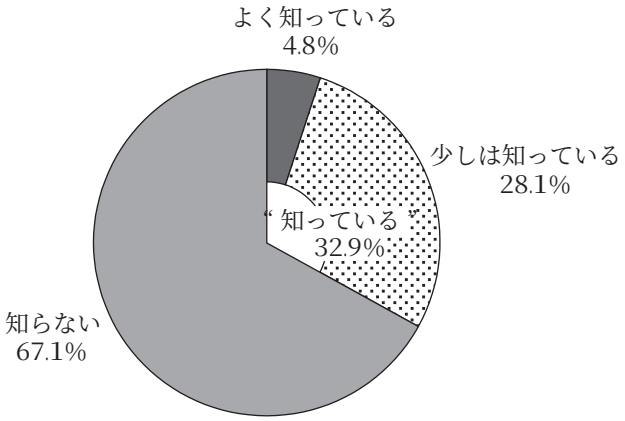


今後、どのような点に気をつけて農産物を購入したいと思うかを尋ねたところ、「産地」が58.1%、「化学肥料や農薬の使用状況」が49.5%、「新鮮さ」が41.9%、「価格」が27.3%などとなっている。

3　環境にやさしい農業推進の取組

問４　これまで、愛知県では、肥料や農薬を減らす環境にやさしい農業を推進してきました。この結果、最近10年間で化学肥料や農薬の使用量を２割以上減らすことができました。あなたは、こうした県の取組を知っていますか。(回答は１つ)

N＝477



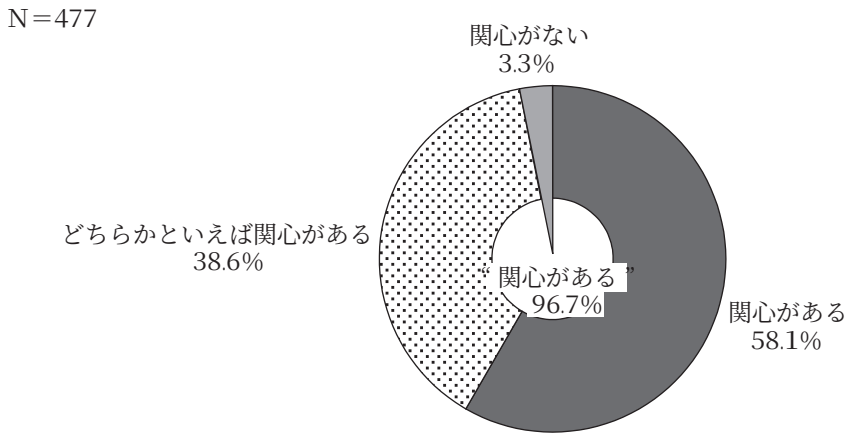
肥料や農薬を減らす環境にやさしい農業を推進してきた県の取組を知っているかを尋ねたところ、「よく知っている」4.8%、「少しは知っている」28.1%で、合わせた“知っている”が32.9%に対し、「知らない」が67.1%となっている。

本県では、環境にやさしい農業の推進に取り組んできた結果、平成９年を基準として、平成18年には、化学肥料で22%、農薬で23%の削減を達成しました。

しかし、こうした県の取組について、７割近くの方が知らないと答えていますので、今後も情報の発信を積極的に行い、県民の理解と協力を求めていきたいと考えています。

(農林水産部農業経営課)

問５　愛知県では、これまでの成果を踏まえ、より一層、環境にやさしい農業を推進しますが、あなたは、こうした取組に関心がありますか。(回答は１つ)



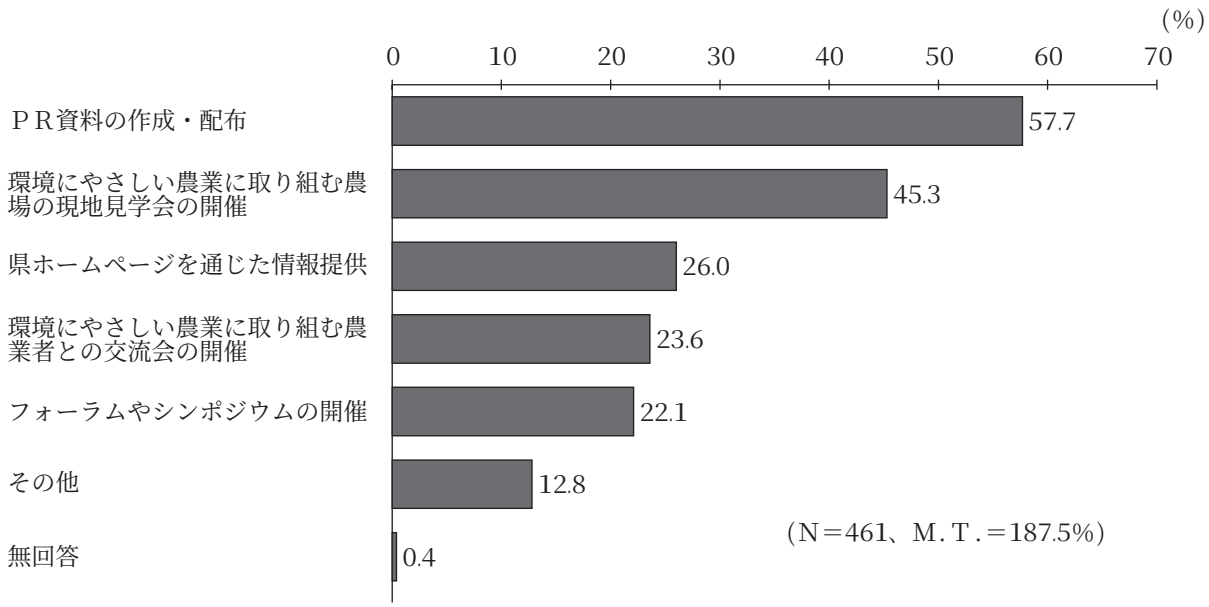
環境にやさしい農業を推進する県の取組について関心があるかを尋ねたところ、「関心がある」58.1%、「どちらかといえば関心がある」38.6%で、合わせた“関心がある”が96.7%となっている。「関心がない」は3.3%となっている。

ほとんどの方が、環境にやさしい農業を推進する県の取組に関心があると答えており、地域の環境保全に対する意識が高まっています。

本県では、平成20年３月に「愛知県環境と安全に配慮した農業推進計画」を策定しました。この計画では、県民の関心が高い農産物の安全確保の観点を加え、本県の農業をより一層環境と安全に配慮したものとすることを目指しています。　(農林水産部農業経営課)

＜問５で「１　関心がある」または「２　どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。＞

問６　こうした愛知県の取組を県民の皆さんに知っていただくには、どのような方法がよいと思いますか。(回答は２つ以内)



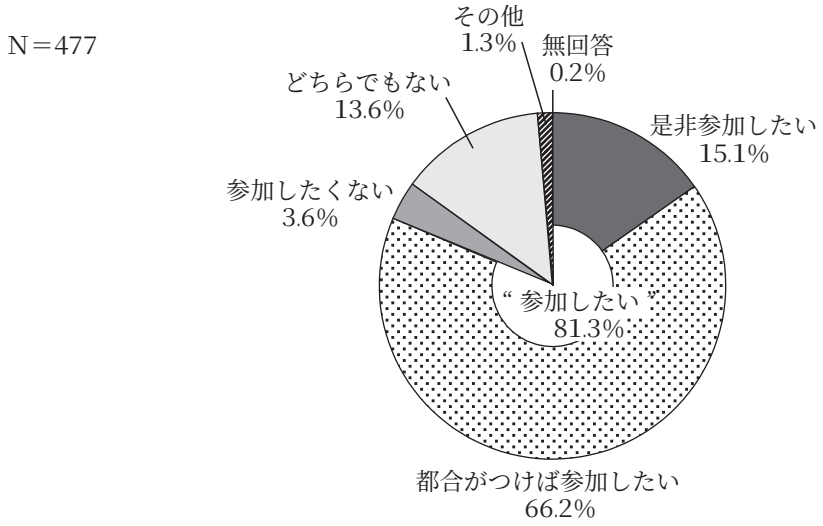
“関心がある”と答えた人に、こうした県の取組を県民に知っていただくには、どのような方法がよいと思うかを尋ねたところ、「ＰＲ資料の作成・配布」が57.7%、「環境にやさしい農業に取り組む農場の現地見学会の開催」が45.3%、「県ホームページを通じた情報提供」が26.0%、「環境にやさしい農業に取り組む農業者との交流会の開催」が23.6%などとなっている。

本県では、環境と安全に配慮した農業を推進するとともに、こうした県の取組を消費者等に幅広く理解していただくため、平成20年10月に「環境と安全に配慮した農業推進フォーラム」を開催しました。

今後も、環境と安全に配慮した農業について、イベントや広報資料、インターネット等を活用して、関連情報の発信を行い、県民の理解と協力を求めていきたいと考えています。

(農林水産部農業経営課)

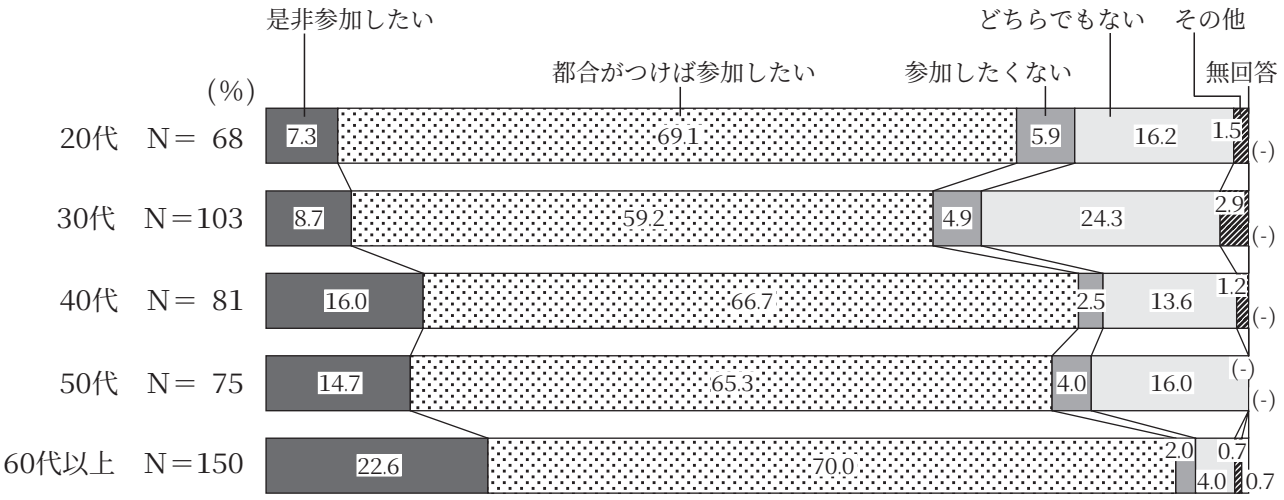
問７　あなたは、環境にやさしい農業に関するイベント（フォーラムなど）を開催した場合、参加したいと思いますか。(回答は１つ)



環境にやさしい農業に関するイベント（フォーラムなど）を開催した場合、参加したいと思うかを尋ねたところ、「是非参加したい」15.1%、「都合がつけば参加したい」66.2%で、合わせた“参加したい”が81.3%に対し、「参加したくない」は3.6%となっている。

年代別にみると、“参加したい”と答えた人の割合は60代以上で高くなっている。

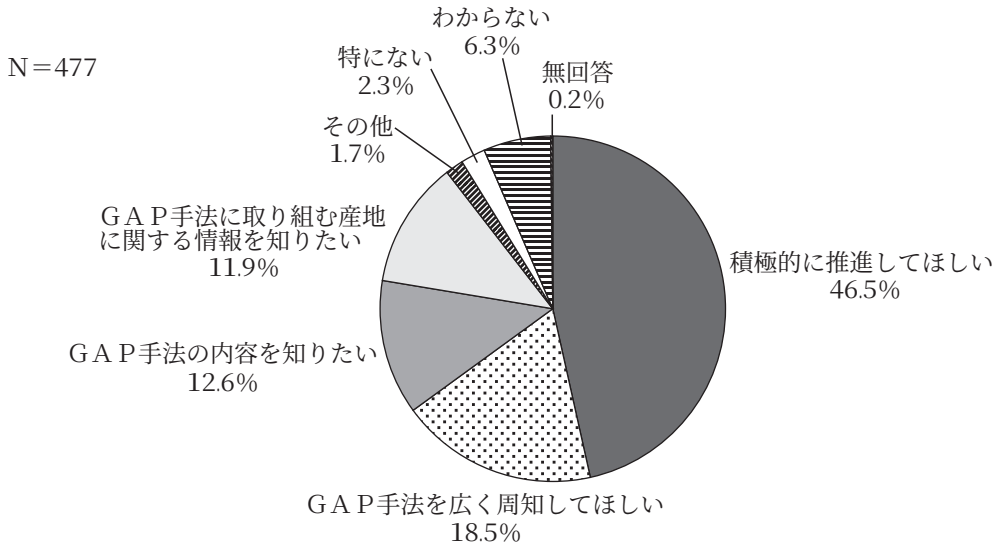
(年代別)



4　ＧＡＰ（ギャップ）手法

問８　愛知県では、現在、ＧＡＰ（ギャップ）手法(※)の導入を推進しています。あなたは、この取組についてどう思いますか。(回答は１つ)

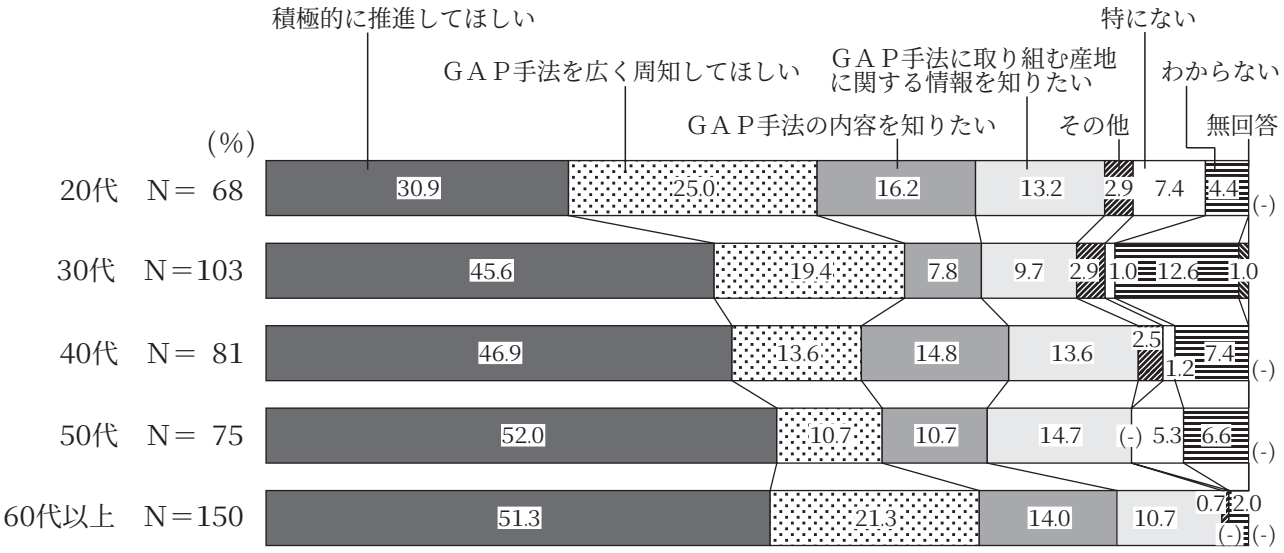
※ＧＡＰ手法：ひとつひとつの農作業において、環境にやさしく安全な農産物を生産するために必要な項目（例えば、正しく農薬を使うことや、肥料をやり過ぎないことなど）について、確認・点検・記録しながら農作業を行う手法。



ＧＡＰ（ギャップ）手法の導入を推進している県の取組についてどう思うかを尋ねたところ、「積極的に推進してほしい」が46.5%、「ＧＡＰ手法を広く周知してほしい」が18.5%、「ＧＡＰ手法の内容を知りたい」が12.6%などとなっている。

年代別にみると、「積極的に推進してほしい」と答えた人の割合は50代で、「ＧＡＰ手法を広く周知してほしい」と答えた人の割合は20代で、それぞれ高くなっている。

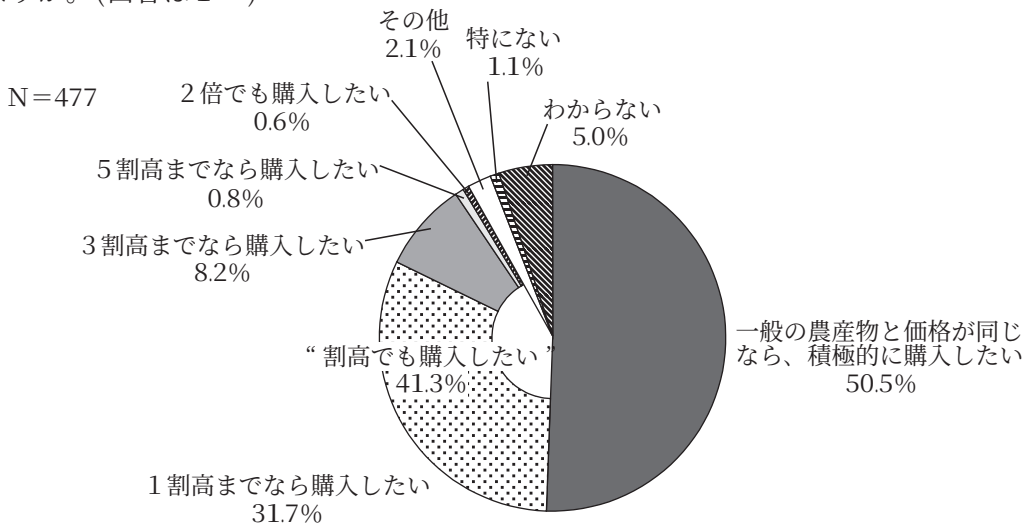
(年代別)



ＧＡＰ手法について、積極的な推進をしてほしい、広く周知してほしい、内容を知りたい等、９割近くの方が関心を示しています。

本県では、産地が環境と安全に配慮した農業に取り組むためのよりどころとして、平成18年３月に「愛知県農産物環境安全推進マニュアル」(愛知県版ＧＡＰ）を策定し、ＧＡＰ手法の導入を推進してきました。今後も、県内の主要産地について、愛知県農産物環境安全推進マニュアルをはじめとしたＧＡＰ手法の導入を推進していきます。　　(農林水産部農業経営課)

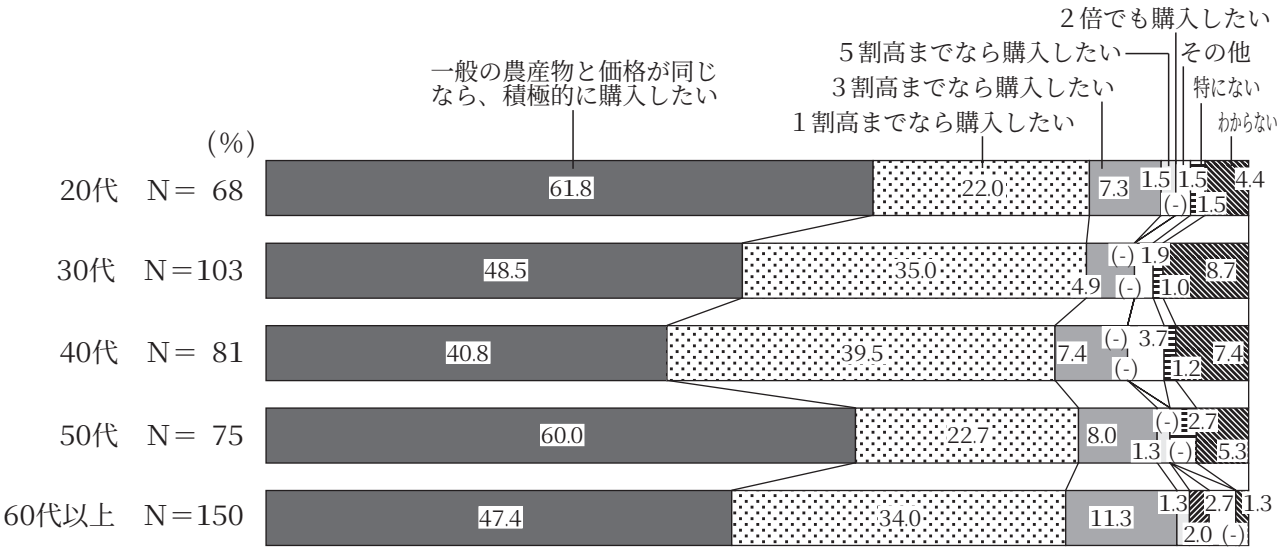
問９　あなたは、このＧＡＰ（ギャップ）手法を使って栽培された農産物の購入について、どう思いますか。(回答は１つ)



ＧＡＰ（ギャップ）手法を使って栽培された農産物の購入について、どう思うかを尋ねたところ、「一般の農産物と価格が同じなら、積極的に購入したい」50.5%に対し、「１割高までなら購入したい」31.7%、「３割高までなら購入したい」8.2%、「５割高までなら購入したい」0.8%、「２倍でも購入したい」0.6%で、合わせた“ 割高でも購入したい ”は41.3%となっている。

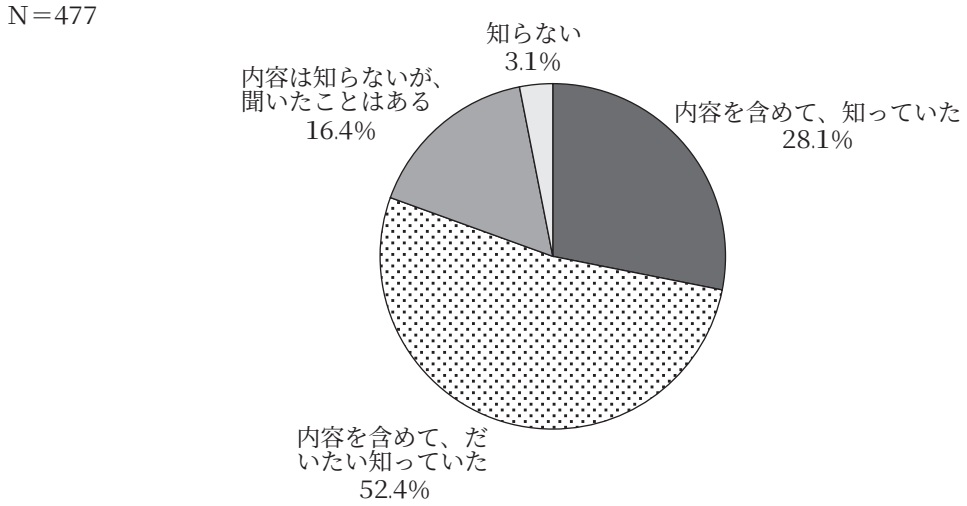
年代別にみると、「一般の農産物と価格が同じなら、積極的に購入したい」と答えた人の割合は20代で高く、“ 割高でも購入したい ”と答えた人の割合は60代以上で高くなっている。

(年代別)



5　有機農業

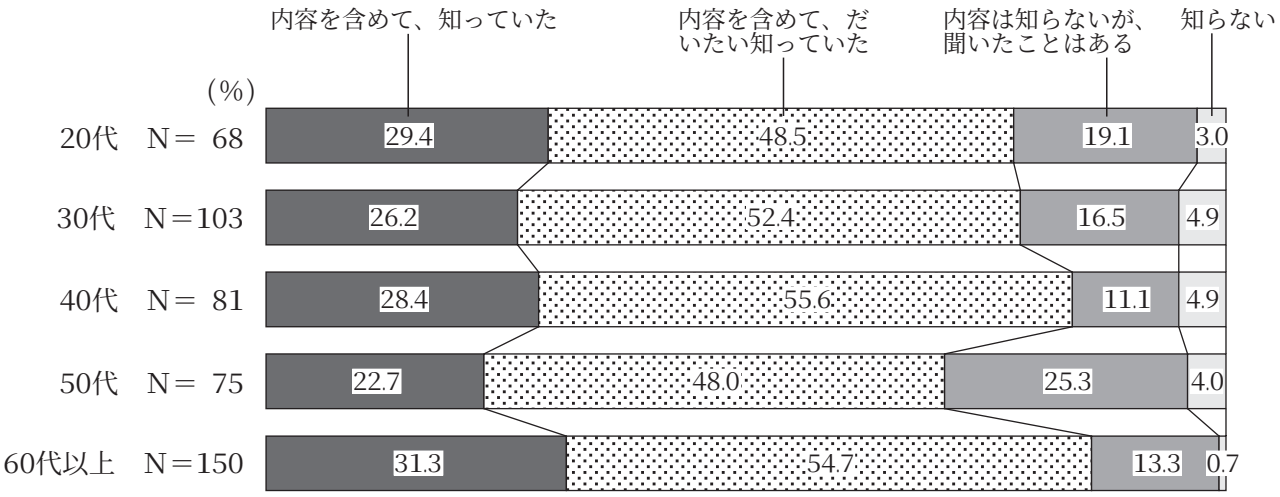
問10　「有機農業」とは、化学肥料や農薬を使用しないこと、遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本とした農業ですが、あなたは、このことを知っていましたか。(回答は１つ)



化学肥料や農薬を使用しないこと、遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本とした農業が有機農業であることを知っていたかを尋ねたところ、「内容を含めて、知っていた」が28.1%、「内容を含めて、だいたい知っていた」が52.4%、「内容は知らないが、聞いたことはある」が16.4%、「知らない」が3.1%となっている。

年代別にみると、「内容を含めて、知っていた」と答えた人の割合は60代以上で高く、50代で低くなっている。

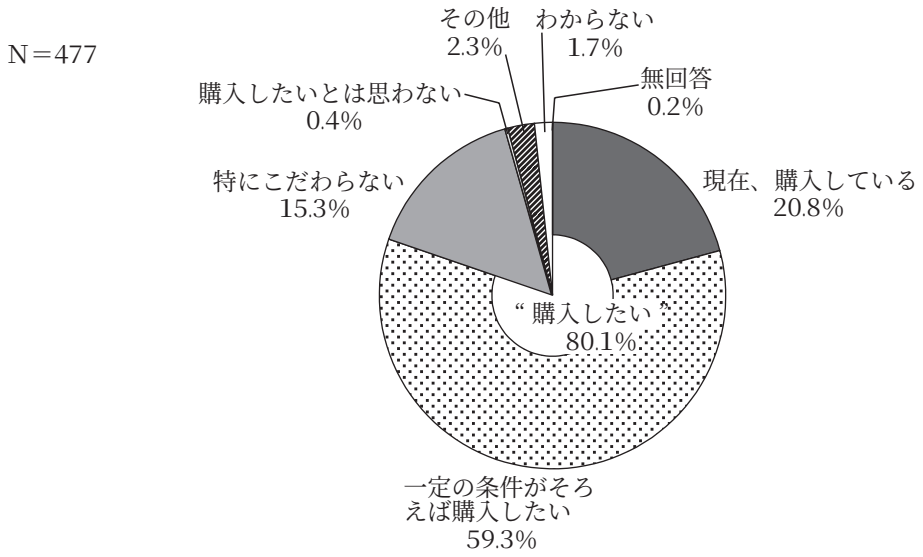
(年代別)



有機農業は化学肥料や農薬を使用しないこと等を基本とする環境と調和のとれた農業です。こうした有機農業について、内容を含めて知っていたと答えた方は３割弱でした。

本県では、環境と安全に配慮した農業の取組の一つである有機農業について、さらに県民の理解促進に努めていきます。　(農林水産部農業経営課)

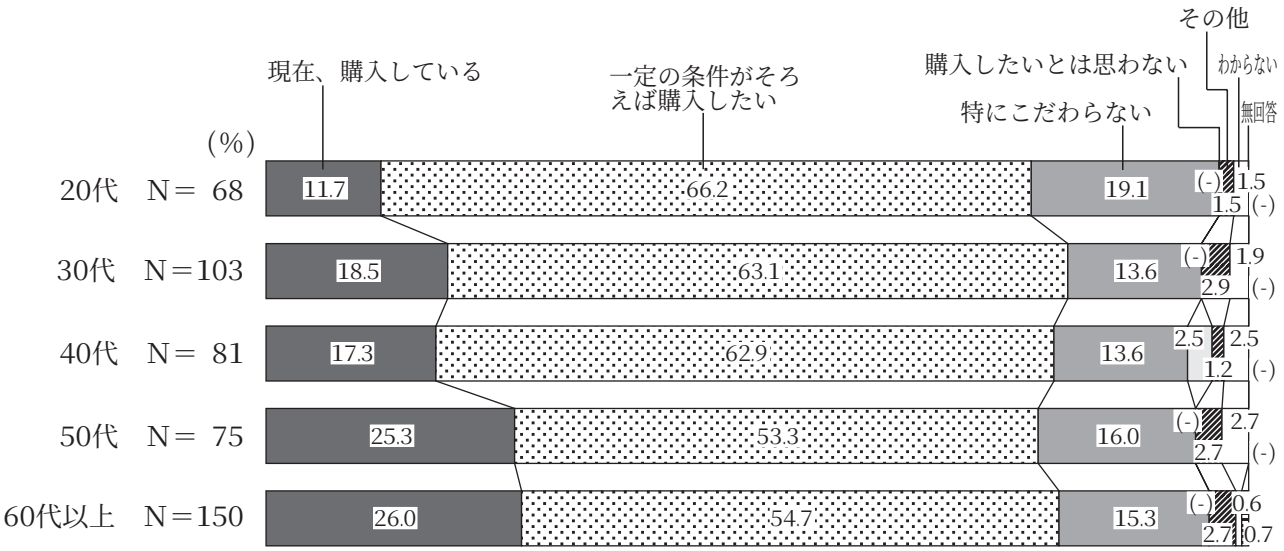
問11　有機農業で生産された農産物の購入について、どうお考えですか。(回答は１つ)



有機農業で生産された農産物の購入について、どう考えるかを尋ねたところ、「現在、購入している」20.8%、「一定の条件がそろえば購入したい」59.3%で、合わせた“購入したい”が80.1%に対し、「特にこだわらない」が15.3%、「購入したいとは思わない」が0.4%となっている。

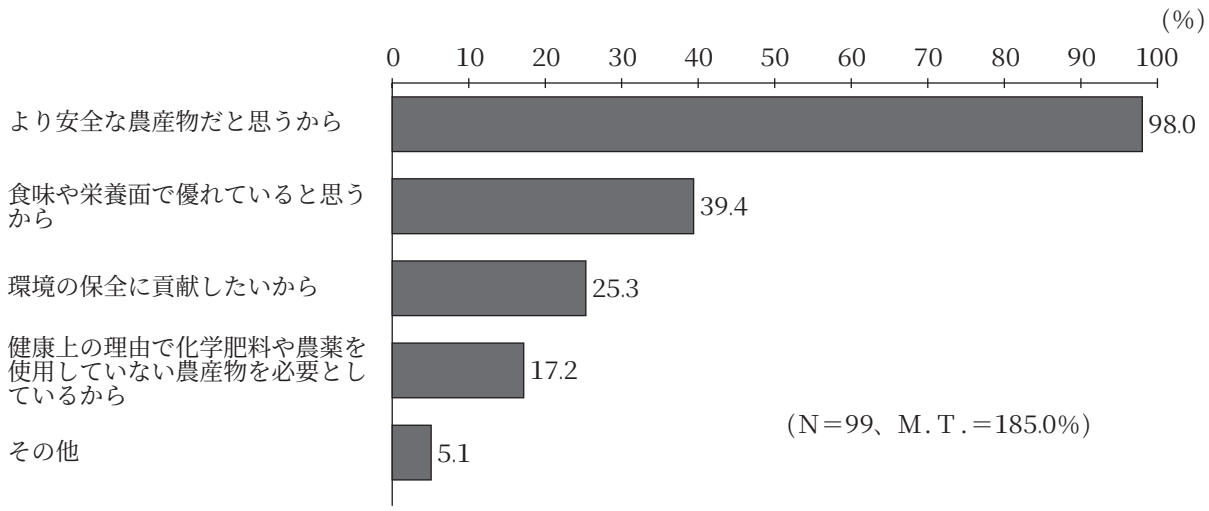
年代別にみると、「現在、購入している」と答えた人の割合は60代以上で、「特にこだわらない」と答えた人の割合は20代で、それぞれ高くなっている。

(年代別)



＜問11で「１　現在、購入している」と答えた方にお聞きします。＞

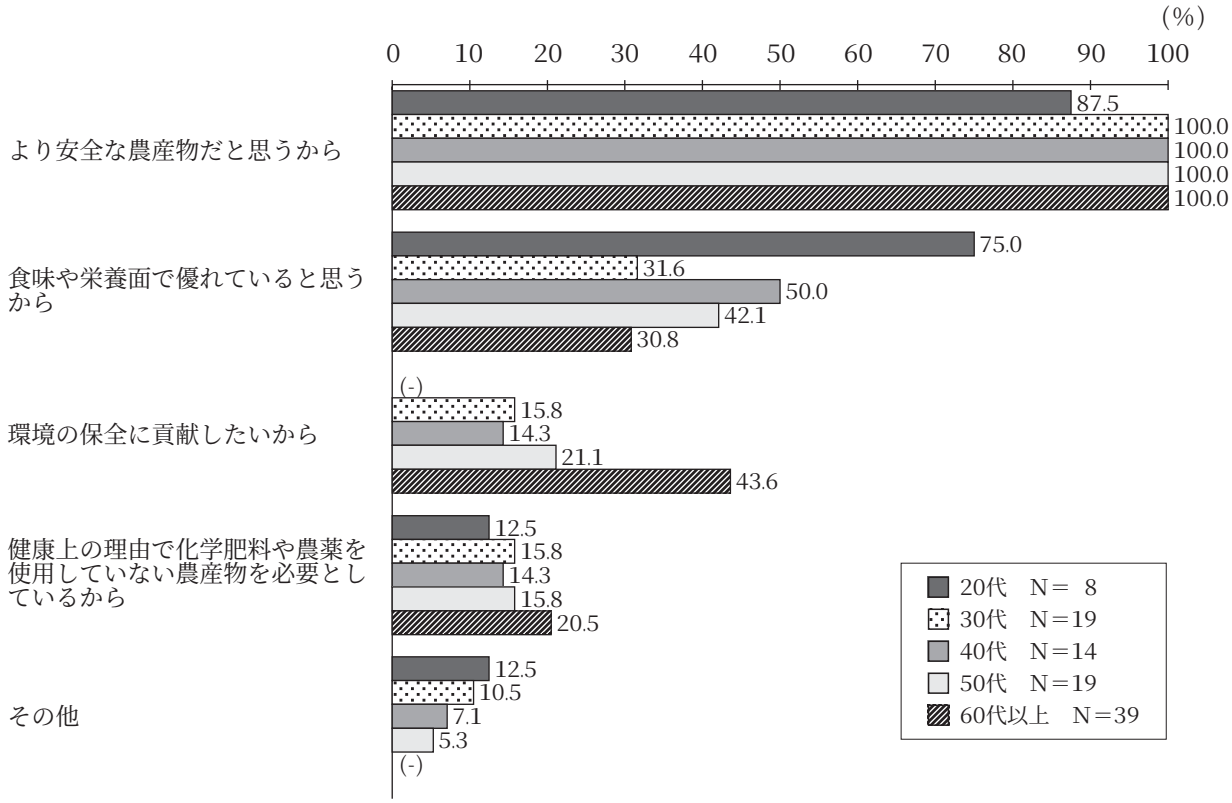
問12　あなたが、有機農業で生産された農産物を購入している理由は何ですか。(回答は２つ以内)



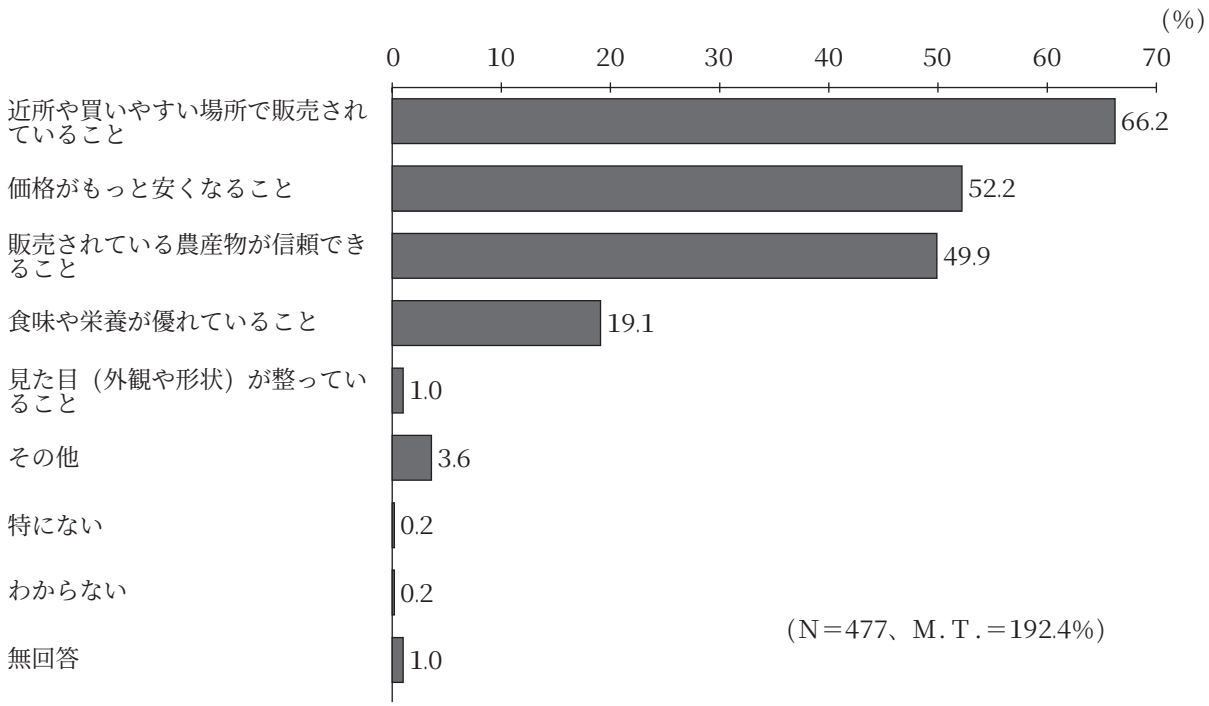
有機農業で生産された農産物を、購入していると答えた人に、購入している理由を尋ねたところ、「より安全な農産物だと思うから」が98.0%、「食味や栄養面で優れていると思うから」が39.4%、「環境の保全に貢献したいから」が25.3%などとなっている。

年代別にみると、すべての年代で「より安全な農産物だと思うから」と答えた人の割合が最も高くなっている。次いで20代では「食味や栄養面で優れていると思うから」と答えた人の割合が高く、60代以上では「環境の保全に貢献したいから」と答えた人の割合が高くなっている。

(年代別)


(%)
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
より安全な農産物だと思うから
87.5
100.0
100.0
100.0
100.0
食味や栄養面で優れていると思うから
75.0
31.6
50.0
42.1
30.8
環境の保全に貢献したいから
(-)
15.8
14.3
21.1
43.6
健康上の理由で化学肥料や農薬を使用していない農産物を必要としているから
12.5
15.8
14.3
15.8
20.5
その他
12.5
10.5
7.1
5.3
(-)
20代　N＝ 8
30代　N＝19
40代　N＝14
50代　N＝19
60代以上　N＝39

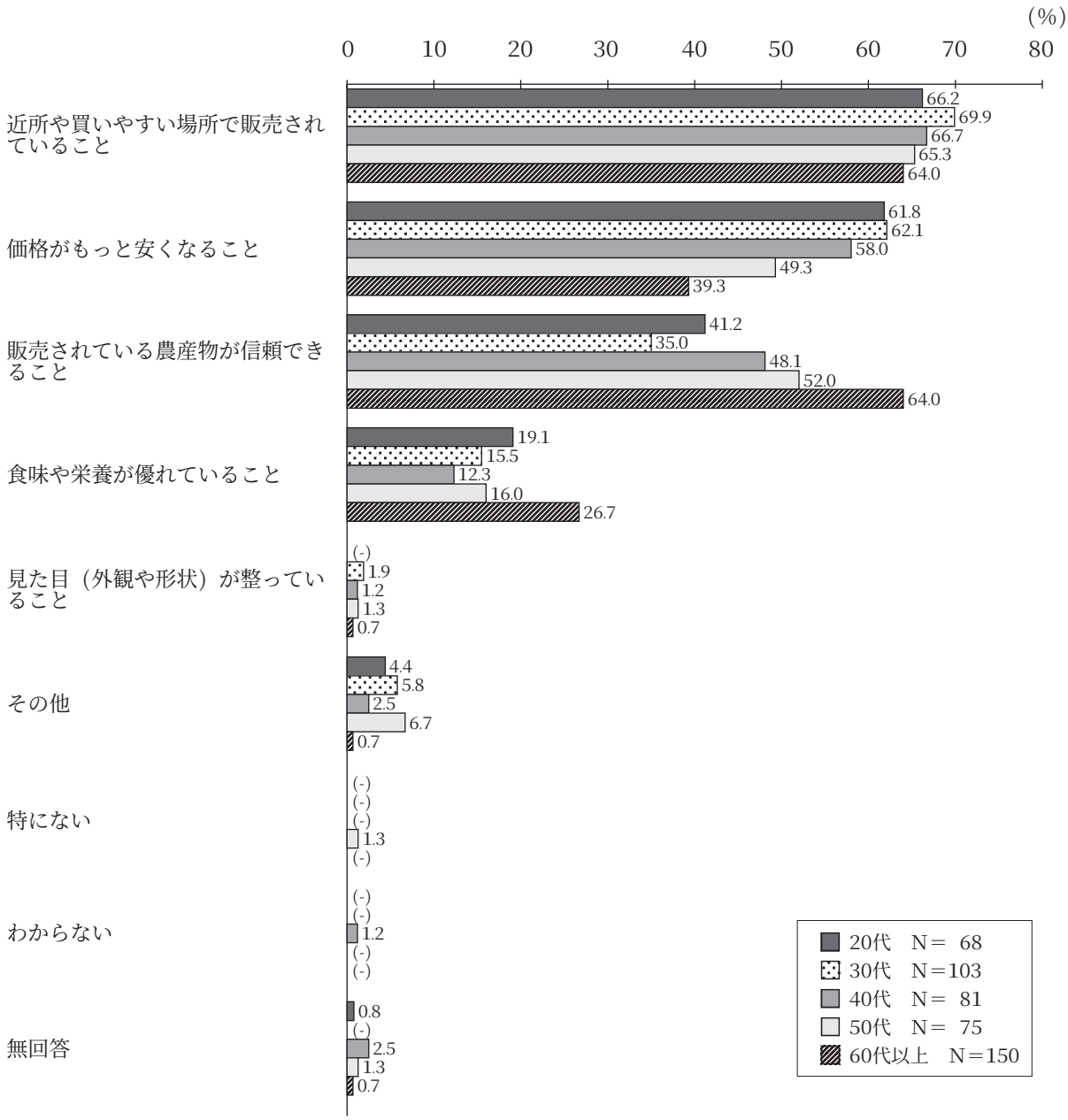
問13　あなたは、今後、有機農業で生産された農産物が広く流通し、利用されるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(回答は２つ以内)



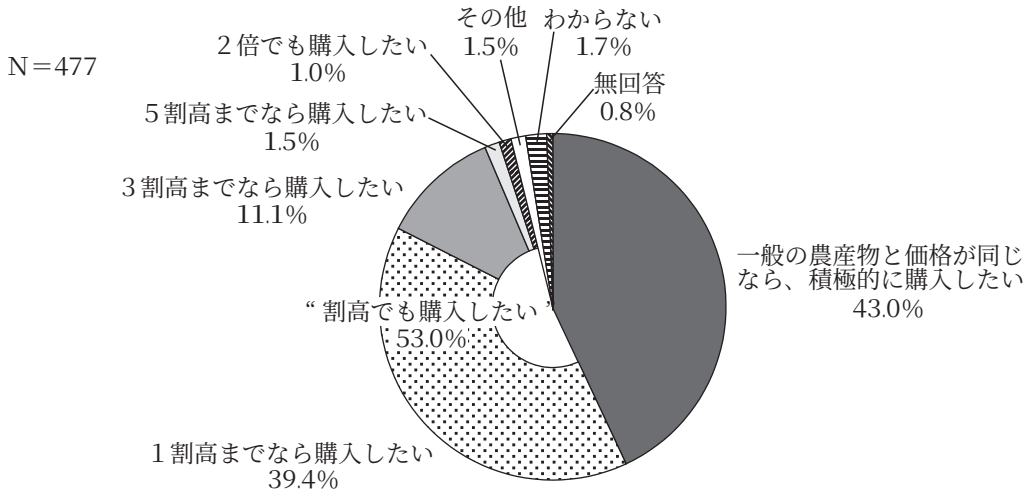
今後、有機農業で生産された農産物が広く流通し利用されるようになるためには、どのようなことが必要かを尋ねたところ、「近所や買いやすい場所で販売されていること」が66.2%、「価格がもっと安くなること」が52.2%、「販売されている農産物が信頼できること」が49.9%などとなっている。

年代別にみると、すべての年代で「近所や買いやすい場所で販売されていること」と答えた人の割合が最も高くなっている。次いで20代から40代では「価格がもっと安くなること」と答えた人の割合が高く、50代及び60代以上では「販売されている農産物が信頼できること」と答えた人の割合が高くなっている。

(年代別)


(%)
0
10
20
30
40
50
60
70
80
近所や買いやすい場所で販売されていること
66.2
69.9
66.7
65.3
64.0
価格がもっと安くなること
61.8
62.1
58.0
49.3
39.3
販売されている農産物が信頼できること
41.2
35.0
48.1
52.0
64.0
食味や栄養が優れていること
19.1
15.5
12.3
16.0
26.7
見た目（外観や形状）が整っていること
(-)
1.9
1.2
1.3
0.7
その他
4.4
5.8
2.5
6.7
0.7
特にない
(-)
(-)
(-)
1.3
(-)
わからない
(-)
(-)
1.2
(-)
(-)
無回答
0.8
(-)
2.5
1.3
0.7
20代　N＝ 68
30代　N＝103
40代　N＝ 81
50代　N＝ 75
60代以上　N＝150

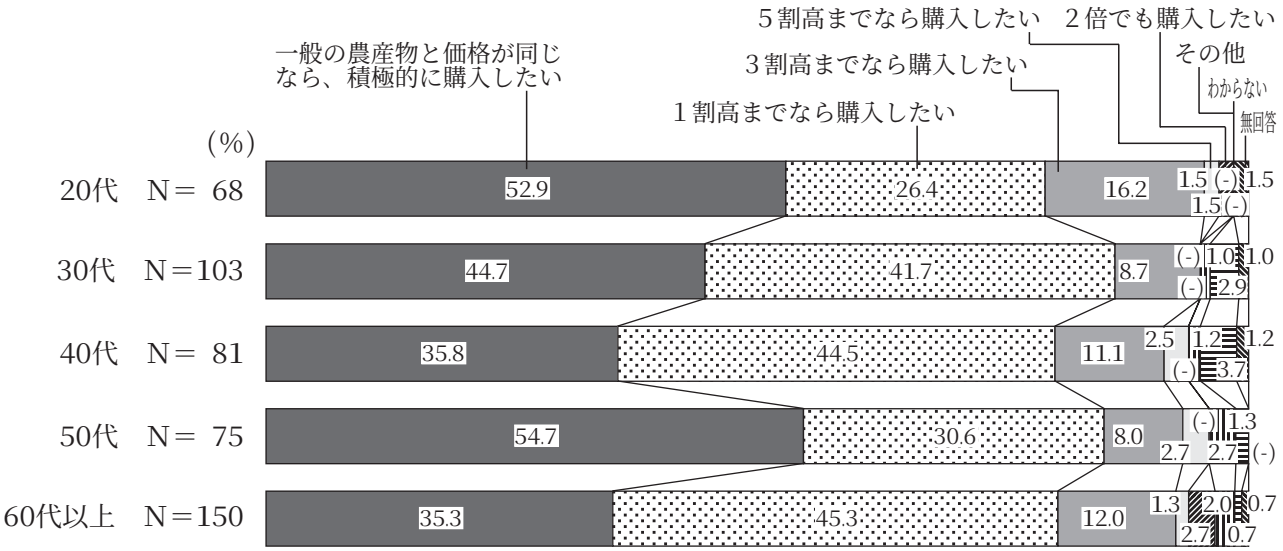
問14　あなたは、有機農業で生産された農産物について、どの程度の価格であれば購入したいと思いますか（購入していますか）。(回答は１つ)



有機農業で生産された農産物について、どの程度の価格であれば購入したいかを尋ねたところ、「一般の農産物と価格が同じなら、積極的に購入したい」43.0%に対して、「１割高までなら購入したい」39.4%、「３割高までなら購入したい」11.1%、「５割高までなら購入したい」1.5%、「２倍でも購入したい」1.0%で、合わせた“割高でも購入したい”は53.0%となっている。

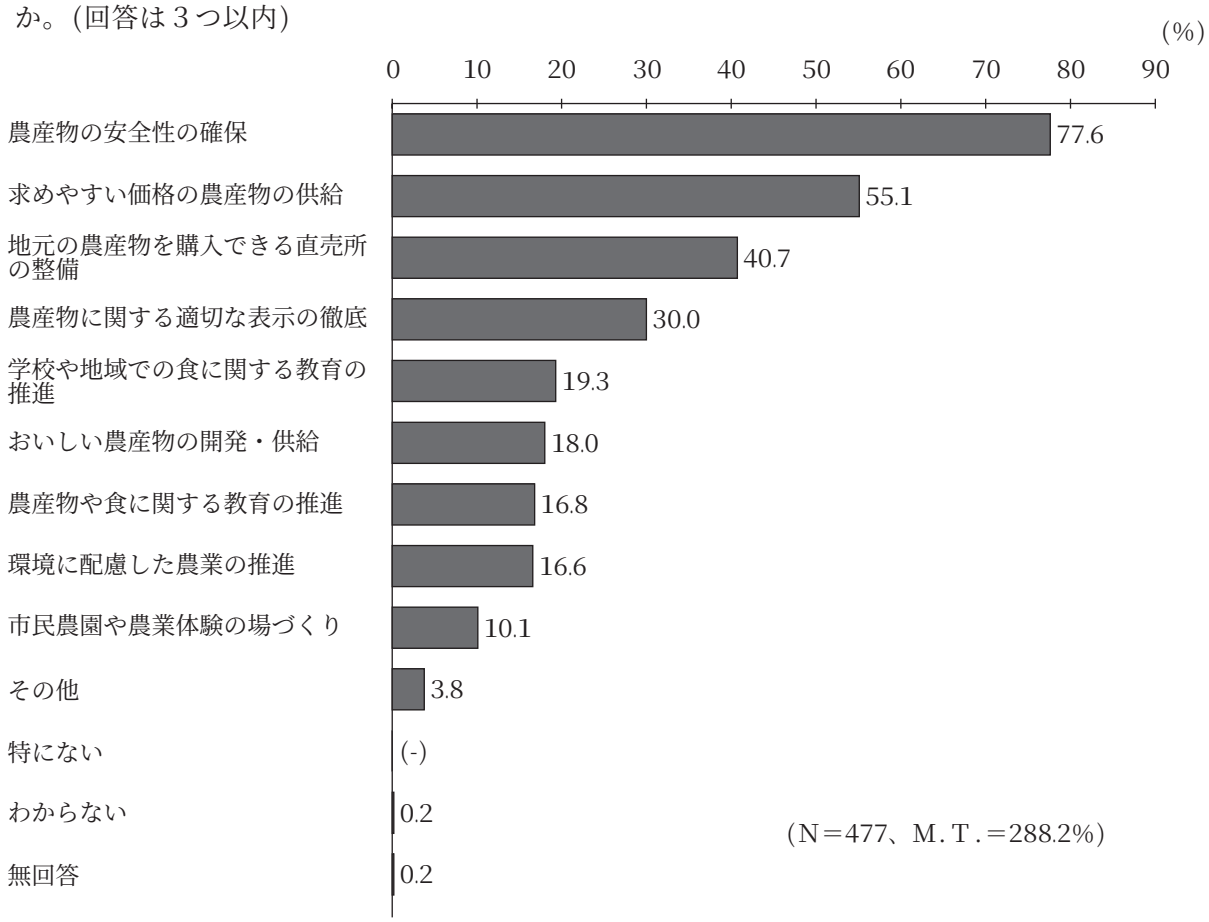
年代別にみると、「一般の農産物と価格が同じなら、積極的に購入したい」と答えた人の割合は50代で高く、“割高でも購入したい”と答えた人の割合は60代以上で高くなっている。

(年代別)



6　今後の愛知県農業の方向

問15　あなたは、今後、愛知県の農業を振興する上で、何に重点的に取り組むべきだと思いますか。(回答は３つ以内)



今後、愛知県の農業を振興する上で、何に重点的に取り組むべきだと思うかを尋ねたところ、「農産物の安全性の確保」が77.6%、「求めやすい価格の農産物の供給」が55.1%、「地元の農産物を購入できる直売所の整備」が40.7%、「農産物に関する適切な表示の徹底」が30.0%などとなっている。

7　自由意見

環境と安全に配慮した農業の推進について、ご意見・ご提案等があれば、自由にお書きください。

環境と安全に配慮した農業の推進について、自由に意見を記入していただいたところ、341件の意見が寄せられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項　　目	件　数
⑴　農産物の安全性の確保について	７３
⑵　地産地消及び食育の推進について	８４
⑶　農産物や食に関する情報発信について	３６
⑷　環境と安全に配慮した農業の推進について	５１
⑸　ＧＡＰの推進について	２４
⑹　有機農業について	２０
⑺　農業全般について	５３
合　　計	３４１

(1)　農産物の安全性の確保について

○　食に関する違反に対して、罰則をもっと強化すべきである。また、安全な食品を国内で生産してほしいので、県がテコ入れして農家を守ってほしい。

○　最近の物価高を考えるとあまり高いものは購入できない。ある程度値段を抑えて安全なものを供給してほしい。

○　農産物が安全であるならば、外観や形状にこだわらない。こうした農産物は価格も安いことが多く、大いに利用すべきであり購入したい。

○　食料自給率を上げていく必要がある。その点において国産の農作物が、少々高価になっても仕方がない。そうすることで、農家の経営が安定し、食の安全も保証される。

○　有機栽培、またできる限り農薬の使用量を減らした安全な農作物を、求めやすい価格で提供してほしい。

○　食品に対する安全・安心が脅かされており、生産者、メーカーに対する信頼回復が望まれていると思うので、県としても積極的に取り組んでほしい。

○　どのくらい安全かどうかというのは、表示されている以上に知りたいと思う。だから、インターネットなどを通じて安全性を教えてほしい。

○　消費者は信用して食料品を購入しているため、偽装して販売することは本当に許せない。毎日食べているお米・野菜・お肉などは、安全でおいしいものを家族に食べさせたい。

○　商品を売る時は産地が間違いないかチェックを行うなど管理体制を強化し、消費者に不安を与えないことが大事だと思う。
○　食に関する安全が危なくなっている今、自給自足の大切さを改めて感じている。それぞれ個人が食の安全を確保することが必要不可欠だと思う。
○　食の安全は何より大切なこと。どんな物も安心して買えるようでなくてはならない。生産者も安全で良い物を作れば必ず生活が成り立ち、安心して仕事ができるようになったら良い。
○　環境や安全が声高になっても、消費者は価格ぐらいでしか評価できない。

(2)　地産地消及び食育の推進について

○　地産地消の推進を官民一体となって進めることが重要である。例えば、ＪＡの直売活動などは今以上に推進すべき。
○　産直売り場の野菜は、スーパーの物に比べて価格も安く、新鮮である。安全で新鮮な地元の野菜を積極的に食卓に取り入れたい。
○　外国産よりも、地元の野菜のほうが輸送コストが低く、CO_2の排出量を減らせる。地産地消は環境に優しい。普段の買い物で環境を意識しながら食品を選択する機会があれば良い。
○　地産地消で、本来の旬の農作物を食すのが、食育の観点からも栄養の面からも大事だ。
○　農業推進フォーラムを各地で開催するとともに、地産地消の意識を高めるための施策を検討し、大都市だけでなく地域の隅々まで地道に実施してほしい。
○　食糧難が予想される中、農業は大変重要な産業であると認識している。ただ大規模化等の生産の効率化が進まない現状では、地域密着型の販売網を多く持ち展開することが得策である。
○　生産者の顔が見える地元の野菜が安心だと思う。無農薬や有機栽培はコストがかかるが、県からの補助制度などで、生産者の負担を軽減していただきたい。
○　最近は所々で地場ものが販売されるようになったが、安全で新鮮で安価な地場ものを販売できる場所が増えるような施策を考えていただきたい。
○　他の食料品が値上がりしているので、せめて野菜などは、地元の物を安く買いたいと思う。農家の人が地元で販売すれば、輸送費がかからないので、安く売ることができると思う。
○　買い手である消費者の立場の方が有利なので、消費者は形のいびつなものでも買う勇気が必要である。地産地消が原点である。
○　農業がどれだけ大変手間のかかるものか、ほとんどの人は分かっていない。農業に対する理解は、体験を通じてから始まる。多くの人に農業を体験していただく場を設けていただきたい。
○　もっと気軽に農業体験ができる場があるといいと思う。土いじりの授業は小学校で終わるので、中学高校でもあればもっと農業を身近に感じられるのではないか。
○　家族の健康を考え、新鮮で安全な食材を使うことが大切だと思っている。子供と一緒に農業体験などに参加したいので、企画してほしい。

○　農産物の生産に対する消費者の理解を深める交流が必要であり、消費者の支援により、日本の農業、限界集落を少しでも活性化する必要がある。
○　農業は、未来の生命産業である。環境に配慮した有機農業の発展と食の安全は国民の願いである。学校給食にも、なるべく国産の農産物を使い地産地消、食農教育の推進ができると良い。

(3)　農産物や食に関する情報発信について

○　愛知県は、工業と農業を両立させた素晴らしい県であるが、県民の多くがそのことに気付いていない。県民がそうした取組に、もっと関心を高く持つよう、ＰＲの必要がある。
○　若い人に地場野菜の安全性をＰＲすることは大切である。野菜を使ったレシピも必要かと思う。
○　農産物を購入するときは、価格や新鮮さしかわからない。行政が全体の把握をして消費者を守ってもらいたい。そのために新聞やテレビ等を通じていろいろな情報を伝えてほしい。
○　有機肥料だけでつくる農薬を使わない農業は体にとって良いと思うが、できた野菜は形や色が悪いことが多いので、消費者がそれを理解できるようＰＲしていただききたい。
○　多くの人々が食に関する知識と安全なものを見極める鑑識眼を身につけていくことが理想。スーパーでも気軽に正しい情報を得られる方法があれば良いと思う。
○　消費者に食品の産地に関する情報が伝わることが重要。消費者に愛知県産はしっかりしたものだということをＰＲすれば、新たな市場を生み出すことができると思う。
○　愛知県では環境にやさしい農業を推進して、２割以上化学肥料や農薬を減らしたことをＰＲし、愛知県産の野菜等の安全性をアピールしていくことが、消費の拡大につながると思う。
○　イベントやフォーラムが名古屋に集中しており、三河など多くの会場でやってもらいたい。消費者が農家（農業）を支えていかなければいけないと思う。

(4)　環境と安全に配慮した農業の推進について

○　小さな頃から、環境や安全に配慮した農業に接したり、教育を受けたりしていれば、値段や見た目に左右されない知識が得られると思う。
○　農家にもトレーサビリティーが求められており厳しさを痛感する。農業分野における愛知ブランドのように、行政の推進施策が等しく享受できる仕組みがあればと願う。
○　県民に広く興味を持ってもらうために、簡潔な内容で環境と安全に配慮した農業推進フォーラムを開催してはどうか。個人個人がもっと関心を持っていくことが必要だと思う。
○　環境と安全に配慮した農業は素晴らしい取組だと思う。農家が安全な野菜を提供しても、経営が安定するように積極的な対策を進めてほしい。
○　愛知県は日本で有数の農業産地であるが、生産量だけではなく、安全・環境面でも日本をリードする役割を担っていただきたい。

○　地産地消やフードマイレージなどの新しい概念も注目を集めており、今こそ、環境と安全に配慮した農業の推進について、消費者に働きかける好機であると考える。
○　環境に配慮したり、消費者が安心して食べられる農作物を購入できるようになるのは、とても良いことだと思うが、生産者にもメリットのある仕組みにしないと定着しないと思う。
○　農業生産者全員がエコファーマーになってほしいと期待している。
○　愛知県は水もおいしいし、野菜も出来が良いと思う。今後も環境に配慮し、自然が多くきれいで気持ちのよい愛知になってほしいと考える。
○　環境と安全への配慮は必要最低限の条件と思う。農家の経営を成り立たせるためには、生産効率の向上が必要。抜本的な構造改革をしなければ、食料自給率は更に低下すると予想する。

(5)　ＧＡＰの推進について

○　ＧＡＰ手法はとても良い取り組みだと思うので、もっと県民に知られるようになるといい。
○　農業生産のＧＡＰ手法は非常に良いことと思うが、一農家で取り入れるとコスト高にならないか。数グループで事務員を専従させ合理化を目指せば、コスト低減も図られると思う。
○　ＧＡＰ手法はとても良いことだと思うが、確認、点検、記録が本当に正確なデータかは、消費者としては信用できない。不正があれば公表して、安心できる農産物を流通させていただきたい。
○　多少割高となってもＧＡＰ手法のように確実に食の安全が守られるなら、消費者の購入意欲は高まると思う。
○　購入する際に、ＧＡＰ手法で生産されていることがわかば良いと思う。安全な生鮮食品が適正価格で購入できる方法を模索してほしい。
○　ＧＡＰ手法について、もっと広めていく必要がある。小売業、公共の場、教育機関での積極的な取り組みを期待する。
○　ＧＡＰ手法を推進する施策として、ＪＡに対して、全組合員にＧＡＰ手法を取り入れるよう働きかけたらどうか。

(6)　有機農業について

○　無農薬、有機栽培の農産物が一般的になるように、新聞等で啓蒙活動を行う必要がある。
○　環境と安全に配慮した農業というのは、生産者・消費者にもやさしい有機農法だと思う。
○　有機農業への関心は高く、有機農産物を買う人が増えていると思うが、価格が高いため買うことができない人も多い。有機農業を行っている農家に助成金を払うなど支援が必要である。
○　食の安全をお金で買う時代である。有機農業で生産された農産物は、価格が高いのは当たり前で、できるだけ協力したいので購入を心がけている。

○　有機農業を行うための労働力をいかにして確保するかが問題ではないか。もっと工夫をして、少しでも労力を減らすこと、そして安全な食品が作れるようになることを望む。
○　有機農産物を生産して、需要はある程度見込めると思う。一般的に広めようとするなら、販売する場所をもっと数多くする必要がある。
○　有機栽培という表示を信頼して買っているが、何をおいても安全でなければ困る。農家の方の安全な作物を作る苦労を知らないので、もっと情報を発信してほしい。

(7)　農業全般について

○　休耕地を積極的に活用する仕組みを講じてほしい。安価で安定的に農産物が提供されるには、多くの人が農業に取り組む制度が必要。
○　高齢化が進み、若い人が農業に携われる仕組みづくりが必要。定年退職した人が、直売できる場所が多くできれば、農業の活性化と食料自給率の向上につながる。
○　消費税を上げる案があるそうだが、他の物は別にしても、食品だけは絶対やめるべき。食べる物を控えることで健康を害しかねない。
○　まじめに取り組んでいる農家に対し行政としても支援する必要がある。ブランド力を高め、消費拡大を図り、食料自給率を上げていく長期的な取り組みをお願いする。
○　農産物過剰生産に対する価格調整のための生産地での破棄も、エネルギーが必要であり温暖化の一因となるので、農産物を無駄なく販売する仕組みが必要である。
○　農作物を含めた食べ物は栄養になり、おいしくなければならない。いくら安全であるからといっても、まずくて栄養価に問題があれば農作物としては失格である。
○　農家が安心して営農できる環境整備を推進すること。
○　食は文化であり、生命を維持する上で、無視することのできない課題である。従って誰々の責任というような、責任のなすりあいは絶対やめ、各人が考え取り組む課題である。
○　地域の農業を守ろうという意識が、行政にも市民の間にも感じられない。私達にとって食糧・農業問題は重要な課題である。農業の建て直しにお金と力を注いでほしい。

Ⅲ　質問と回答

1　愛知の農業

問1　愛知県では、キャベツ、ブロッコリー、いちじくなど生産量全国1位の品目が多く生産されています。このように愛知県の農業はたいへん盛んですが、あなたは、このことを知っていますか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
知っている	46.6	47.2	45.9	36.6	42.9	60.3	42.6	36.9	48.1	40.0	57.3
少しは知っている	41.9	40.3	43.5	48.6	45.1	31.8	45.6	41.7	42.0	48.0	37.3
知らない	11.3	12.5	10.2	14.8	12.0	7.3	11.8	20.4	9.9	12.0	5.4
無回答	0.2	(−)	0.4	(−)	(−)	0.6	(−)	1.0	(−)	(−)	(−)

2　農産物の購入

問2　あなたは、今まで、主にどのような点に気をつけて農産物を購入していましたか。

(回答は2つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
産地	53.2	42.9	63.0	55.6	56.5	47.0	48.5	55.3	55.6	57.3	50.7
品種や銘柄	4.6	6.1	3.3	7.7	4.9	1.3	2.9	1.0	3.7	6.7	7.3
化学肥料や農薬の使用状況	18.7	16.9	20.3	20.4	16.3	19.9	13.2	18.4	16.0	22.7	20.7
新鮮さ	56.0	56.7	55.3	53.5	53.3	61.6	44.1	53.4	54.3	56.0	64.0
形や見栄え	6.5	9.1	4.1	5.6	4.9	9.3	13.2	9.7	6.2	4.0	2.7
味	4.8	6.9	2.8	5.6	2.2	7.3	5.9	3.9	3.7	6.7	4.7
栄養	4.2	3.9	4.5	3.5	5.4	3.3	7.4	4.9	3.7	1.3	4.0
価格	46.8	51.5	42.3	45.1	46.2	49.0	52.9	50.5	54.3	41.3	40.0
その他	1.5	1.3	1.6	0.7	3.3	(−)	1.5	1.0	(−)	(−)	3.3
特にない	1.0	1.7	0.4	0.7	2.2	(−)	4.4	(−)	(−)	2.7	(−)
無回答	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)

問３　あなたは、今後、どのような点に気をつけて農産物を購入したいと思いますか。

(回答は２つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
産地	58.1	52.4	63.4	59.2	58.7	56.3	50.0	63.1	63.0	61.3	54.0
品種や銘柄	5.9	6.9	4.9	8.5	6.0	3.3	5.9	2.9	6.2	10.7	5.3
化学肥料や農薬の使用状況	49.5	42.4	56.1	51.4	52.7	43.7	48.5	48.5	46.9	50.7	51.3
新鮮さ	41.9	42.9	41.1	44.4	37.0	45.7	42.6	37.9	33.3	38.7	50.7
形や見栄え	2.5	4.3	0.8	0.7	2.2	4.6	4.4	2.9	4.9	1.3	0.7
味	5.2	5.2	5.3	4.2	3.8	7.9	5.9	1.9	4.9	4.0	8.0
栄養	5.9	6.9	4.9	3.5	6.5	7.3	10.3	6.8	3.7	2.7	6.0
価格	27.3	32.0	22.8	25.4	26.6	29.8	27.9	35.0	29.6	26.7	20.7
その他	1.3	2.2	0.4	0.7	2.2	0.7	1.5	(−)	1.2	(−)	2.7
特にない	0.2	0.4	(−)	0.7	(−)	(−)	(−)	(−)	1.2	(−)	(−)
わからない	0.4	0.9	(−)	(−)	1.1	(−)	1.5	(−)	(−)	1.3	(−)
無回答	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)

３　環境にやさしい農業推進の取組

問４　これまで、愛知県では、肥料や農薬を減らす環境にやさしい農業を推進してきました。この結果、最近10年間で化学肥料や農薬の使用量を２割以上減らすことができました。あなたは、こうした県の取組を知っていますか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
よく知っている	4.8	6.0	3.7	4.2	3.2	7.3	(−)	4.9	2.5	2.7	9.3
少しは知っている	28.1	23.4	32.5	31.7	27.2	25.8	19.1	16.5	22.2	26.7	44.0
知らない	67.1	70.6	63.8	64.1	69.6	66.9	80.9	78.6	75.3	70.6	46.7
無回答	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)

問５　愛知県では、これまでの成果を踏まえ、より一層、環境にやさしい農業を推進しますが、あなたは、こうした取組に関心がありますか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
関心がある	58.1	55.8	60.2	58.5	58.7	57.0	48.5	52.4	55.6	57.3	68.0
どちらかといえば関心がある	38.6	40.3	37.0	39.4	38.6	37.7	47.1	43.7	40.7	36.0	31.3
関心がない	3.3	3.9	2.8	2.1	2.7	5.3	4.4	3.9	3.7	6.7	0.7
無回答	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)

＜問５で「１　関心がある」または「２　どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。＞

問６　こうした愛知県の取組を県民の皆さんに知っていただくには、どのような方法がよいと思いますか。(回答は２つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	461	222	239	139	179	143	65	99	78	70	149
フォーラムやシンポジウムの開催	22.1	25.2	19.2	28.8	21.2	16.8	20.0	15.2	12.8	17.1	34.9
県ホームページを通じた情報提供	26.0	28.8	23.4	28.1	33.0	15.4	26.2	27.3	33.3	27.1	20.8
環境にやさしい農業に取り組む農業者との交流会の開催	23.6	22.1	25.1	22.3	24.6	23.8	20.0	23.2	23.1	18.6	28.2
環境にやさしい農業に取り組む農場の現地見学会の開催	45.3	42.3	48.1	46.8	40.8	49.7	41.5	40.4	53.8	40.0	48.3
ＰＲ資料の作成・配布	57.7	59.0	56.5	51.8	58.1	62.9	56.9	56.6	50.0	67.1	58.4
その他	12.8	11.3	14.2	9.4	12.8	16.1	13.8	19.2	12.8	17.1	6.0
無回答	0.4	0.5	0.4	(−)	(−)	1.4	(−)	(−)	1.3	1.4	(−)

問７　あなたは、環境にやさしい農業に関するイベント（フォーラムなど）を開催した場合、参加したいと思いますか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
是非参加したい	15.1	18.2	12.2	18.3	11.4	16.6	7.3	8.7	16.0	14.7	22.6
都合がつけば参加したい	66.2	59.8	72.4	63.4	71.2	62.9	69.1	59.2	66.7	65.3	70.0
参加したくない	3.6	5.6	1.6	3.5	3.8	3.3	5.9	4.9	2.5	4.0	2.0
どちらでもない	13.6	15.6	11.8	12.7	12.5	15.9	16.2	24.3	13.6	16.0	4.0
その他	1.3	0.4	2.0	2.1	0.6	1.3	1.5	2.9	1.2	(−)	0.7
無回答	0.2	0.4	(−)	(−)	0.5	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	0.7

４　ＧＡＰ（ギャップ）手法

問８　愛知県では、現在、ＧＡＰ（ギャップ）手法の導入を推進しています。あなたは、この取組についてどう思いますか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
積極的に推進してほしい	46.5	42.9	50.0	48.6	44.6	47.0	30.9	45.6	46.9	52.0	51.3
ＧＡＰ手法の内容を知りたい	12.6	12.1	13.0	14.1	13.0	10.6	16.2	7.8	14.8	10.7	14.0
ＧＡＰ手法を広く周知してほしい	18.5	20.3	16.7	16.2	21.7	16.6	25.0	19.4	13.6	10.7	21.3
ＧＡＰ手法に取り組む産地に関する情報を知りたい	11.9	11.3	12.6	12.0	12.0	11.9	13.2	9.7	13.6	14.7	10.7
その他	1.7	1.7	1.6	1.4	2.2	1.3	2.9	2.9	2.5	(－)	0.7
特にない	2.3	3.0	1.6	(－)	2.2	4.6	7.4	1.0	1.2	5.3	(－)
わからない	6.3	8.7	4.1	7.0	4.3	8.0	4.4	12.6	7.4	6.6	2.0
無回答	0.2	(－)	0.4	0.7	(－)	(－)	(－)	1.0	(－)	(－)	(－)

問９　あなたは、このＧＡＰ（ギャップ）手法を使って栽培された農産物の購入について、どう思いますか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
一般の農産物と価格が同じなら、積極的に購入したい	50.5	47.2	53.7	47.9	47.8	56.3	61.8	48.5	40.8	60.0	47.4
１割高までなら購入したい	31.7	33.4	30.1	34.5	32.1	28.5	22.0	35.0	39.5	22.7	34.0
３割高までなら購入したい	8.2	7.4	8.9	7.8	8.7	7.9	7.3	4.9	7.4	8.0	11.3
５割高までなら購入したい	0.8	0.4	1.2	2.1	(－)	0.7	1.5	(－)	(－)	1.3	1.3
２倍でも購入したい	0.6	1.3	(－)	0.7	0.6	0.7	(－)	(－)	(－)	(－)	2.0
その他	2.1	3.0	1.2	1.4	4.3	(－)	1.5	1.9	3.7	(－)	2.7
特にない	1.1	1.7	0.4	0.7	1.6	0.6	1.5	1.0	1.2	2.7	(－)
わからない	5.0	5.6	4.5	4.9	4.9	5.3	4.4	8.7	7.4	5.3	1.3
無回答	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)

5　有機農業

問10　「有機農業」とは、化学肥料や農薬を使用しないこと、遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本とした農業ですが、あなたは、このことを知っていましたか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
内容を含めて、知っていた	28.1	28.1	28.0	25.4	30.4	27.8	29.4	26.2	28.4	22.7	31.3
内容を含めて、だいたい知っていた	52.4	55.0	50.0	54.2	53.8	49.0	48.5	52.4	55.6	48.0	54.7
内容は知らないが、聞いたことはある	16.4	13.9	18.7	16.2	13.6	19.9	19.1	16.5	11.1	25.3	13.3
知らない	3.1	3.0	3.3	4.2	2.2	3.3	3.0	4.9	4.9	4.0	0.7
無回答	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)

問11　有機農業で生産された農産物の購入について、どうお考えですか。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
現在、購入している	20.8	17.3	24.0	22.5	19.6	20.5	11.7	18.5	17.3	25.3	26.0
一定の条件がそろえば購入したい	59.3	58.4	60.2	59.9	64.7	52.3	66.2	63.1	62.9	53.3	54.7
特にこだわらない	15.3	19.9	11.0	14.8	10.3	21.9	19.1	13.6	13.6	16.0	15.3
購入したいとは思わない	0.4	0.9	(−)	0.7	0.5	(−)	(−)	(−)	2.5	(−)	(−)
その他	2.3	0.9	3.6	1.4	3.3	2.0	1.5	2.9	1.2	2.7	2.7
わからない	1.7	2.2	1.2	0.7	1.1	3.3	1.5	1.9	2.5	2.7	0.6
無回答	0.2	0.4	(−)	(−)	0.5	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	0.7

＜問11で「１　現在、購入している」と答えた方にお聞きします。＞

問12　あなたが、有機農業で生産された農産物を購入している理由は何ですか。(回答は２つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	99	40	59	32	36	31	8	19	14	19	39
より安全な農産物だと思うから	98.0	95.0	100.0	96.9	100.0	100.0	87.5	100.0	100.0	100.0	100.0
食味や栄養面で優れていると思うから	39.4	42.5	37.3	31.3	50.0	35.5	75.0	31.6	50.0	42.1	30.8
環境の保全に貢献したいから	25.3	35.0	18.6	25.0	13.9	41.9	(−)	15.8	14.3	21.1	43.6
健康上の理由で化学肥料や農薬を使用していない農産物を必要としているから	17.2	12.5	20.3	18.8	25.0	6.5	12.5	15.8	14.3	15.8	20.5
その他	5.1	10.0	1.7	6.3	2.8	6.5	12.5	10.5	7.1	5.3	(−)
無回答	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)

問13　あなたは、今後、有機農業で生産された農産物が広く流通し、利用されるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(回答は２つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
食味や栄養が優れていること	19.1	22.9	15.4	16.9	21.2	18.5	19.1	15.5	12.3	16.0	26.7
見た目（外観や形状）が整っていること	1.0	0.9	1.2	(−)	1.1	2.0	(−)	1.9	1.2	1.3	0.7
近所や買いやすい場所で販売されていること	66.2	63.6	68.7	67.6	67.4	63.6	66.2	69.9	66.7	65.3	64.0
販売されている農産物が信頼できること	49.9	50.6	49.2	46.5	53.8	48.3	41.2	35.0	48.1	52.0	64.0
価格がもっと安くなること	52.2	48.9	55.3	57.0	48.4	52.3	61.8	62.1	58.0	49.3	39.3
その他	3.6	6.1	1.2	2.8	2.7	5.3	4.4	5.8	2.5	6.7	0.7
特にない	0.2	0.4	(−)	(−)	(−)	0.7	(−)	(−)	(−)	1.3	(−)
わからない	0.2	0.4	(−)	(−)	(−)	0.7	(−)	(−)	1.2	(−)	(−)
無回答	1.0	0.4	1.6	1.4	(−)	2.0	0.8	(−)	2.5	1.3	0.7

問14　あなたは、有機農業で生産された農産物について、どの程度の価格であれば購入したいと思いますか（購入していますか)。(回答は１つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
一般の農産物と価格が同じなら、積極的に購入したい	43.0	44.2	41.9	43.7	41.8	43.7	52.9	44.7	35.8	54.7	35.3
１割高までなら購入したい	39.4	39.4	39.4	40.1	39.7	38.4	26.4	41.7	44.5	30.6	45.3
３割高までなら購入したい	11.1	10.4	11.8	10.6	13.0	9.3	16.2	8.7	11.1	8.0	12.0
５割高までなら購入したい	1.5	1.7	1.2	2.1	(−)	2.6	1.5	(−)	2.5	2.7	1.3
２倍でも購入したい	1.0	1.7	0.4	1.4	1.1	0.7	1.5	(−)	(−)	(−)	2.7
その他	1.5	0.9	2.1	(−)	2.2	2.0	(−)	1.0	1.2	2.7	2.0
わからない	1.7	1.3	2.0	0.7	2.2	2.0	(−)	2.9	3.7	1.3	0.7
無回答	0.8	0.4	1.2	1.4	(−)	1.3	1.5	1.0	1.2	(−)	0.7

6　今後の愛知県農業の方向

問15　あなたは、今後、愛知県の農業を振興する上で、何に重点的に取り組むべきだと思いますか。
(回答は３つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	477	231	246	142	184	151	68	103	81	75	150
求めやすい価格の農産物の供給	55.1	51.5	58.5	59.2	53.3	53.6	58.8	61.2	54.3	57.3	48.7
おいしい農産物の開発・供給	18.0	23.8	12.6	23.2	17.4	13.9	20.6	19.4	18.5	21.3	14.0
農産物の安全性の確保	77.6	76.2	78.9	76.1	79.9	76.2	76.5	63.1	79.0	80.0	86.0
農産物に関する適切な表示の徹底	30.0	32.9	27.2	29.6	29.3	31.1	29.4	26.2	32.1	21.3	36.0
地元の農産物を購入できる直売所の整備	40.7	36.8	44.3	39.4	42.9	39.1	32.4	42.7	30.9	41.3	48.0
市民農園や農業体験の場づくり	10.1	9.1	11.0	12.7	9.8	7.9	14.7	14.6	8.6	8.0	6.7
農産物や食に関する教育の推進	16.8	16.9	16.7	11.3	19.0	19.2	16.2	14.6	16.0	21.3	16.7
学校や地域での食に関する教育の推進	19.3	18.2	20.3	18.3	20.1	19.2	19.1	25.2	17.3	9.3	21.3
環境に配慮した農業の推進	16.6	18.2	15.0	10.6	14.7	24.5	13.2	18.4	19.8	21.3	12.7
その他	3.8	5.6	2.0	4.2	2.7	4.6	7.4	2.9	3.7	6.7	1.3
特にない	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)
わからない	0.2	(−)	0.4	(−)	(−)	0.7	(−)	(−)	(−)	(−)	0.7
無回答	0.2	0.4	(−)	0.7	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	(−)	0.7

平成20年度第３回県政モニターアンケート報告書

「環境と安全に配慮した農業に関する意向調査」
平　成　２　１　年　２　月　発　行
愛 知 県 知 事 政 策 局 広 報 広 聴 課
名 古 屋 市 中 区 三 の 丸 三 丁 目 １ 番 ２ 号
電話(０５２)９５４－６１６９(ダイヤルイン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

愛知県